

第1問から第15問の中から3科目（3題）を選択して解答してください。  
ただし、第1問から第12問の中から少なくとも1科目（1題）を選択してください。

第1問 心理学概論

J.ピアジェの認知発達理論の特徴について、「同化」と「調節」という概念に触れながら、400字以内で簡潔に説明せよ。

第2問 臨床心理学

心理学的アセスメントについて、定義や技法に触れながら、400字以内で簡潔に説明せよ。

第3問 社会心理学

自己開示（self-disclosure）について、その機能に触れながら、400字以内で簡潔に説明せよ。

第4問 社会学概論

ゲマインシャフトとゲゼルシャフトについて、400字以内で簡潔に説明せよ。

第5問 現代社会論

「マクドナルド化」について、400字以内で簡潔に説明せよ。

第6問 社会調査法

質問紙調査について、質問文を作成する際のワーディングの留意点に触れながら、400字以内で簡潔に説明せよ。

第7問 社会福祉学概論

児童相談所について、その主な業務に触れながら、400字以内で簡潔に説明せよ。

第8問 社会福祉援助技術

ソーシャルワークにおけるアウトリーチについて、400字以内で簡潔に説明せよ。

第9問 地域福祉論

コミュニティワークについて、400字以内で簡潔に説明せよ。

第10問 教育学概論

学習指導要領の「法的拘束力」について、400字以内で簡潔に説明せよ。

第11問 教育心理学

学習の転移について、具体例を挙げながら、400字以内で簡潔に説明せよ。

第12問 教育社会学

教育機会の不平等について、400字以内で簡潔に説明せよ。

第13問 憲法

司法権の独立の意義とこれを支える憲法上の制度について、400字以内で簡潔に説明せよ。

第14問 民法

心裡留保及び虚偽表示について、それぞれの意義に触れた上で、それぞれの民法上の効力と、そのような効力とされている理由について、400字以内で簡潔に説明せよ。

第15問 刑法

いわゆる領得罪について具体例を挙げてその意義を説明した上で、「不法領得の意思」の意義を明らかにし、この意思を領得罪の成立要件とする見解の理由について、この意思が具体的に機能する場面に言及しつつ、400字以内で簡潔に説明せよ。